

## 第17期定時株主総会決議ご通知

弊社は2022年6月22日に第17期定時株主総会を開催し、以下の通り報告並びに決議されました。

**報告事項** 第17期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告及び計算書類報告の件

**決議事項** 第1号議案 定款一部変更の件  
第2号議案 取締役8名選任の件

原案通り承認可決されました。

## 会社情報

### ■ 会社概要 (2022年3月31日現在)

会社名 株式会社イントラスト (英名: Entrust Inc.)  
証券コード 7191  
設立 2006年3月  
資本金 10億44百万円  
本社所在地 東京都千代田区麹町1-4 半蔵門ファーストビル2F  
従業員数 235名 (アルバイト・パート含む)

### ■ 役員 (2022年6月22日現在)

代表取締役社長 執行役員	桑原 豊
取締役 執行役員	太田 博之
取締役 執行役員	竹内 祐博
取締役 執行役員	川島 俊忠
取締役	玉上 進一
取締役 (社外)	山中 正竹
取締役 (社外)	松山 哲人
取締役 (社外)	網野 麻理
常勤監査役 (社外)	佐藤 智之
監査役	吉田 範夫
監査役 (社外)	坂田美穂子



信頼の  
まんなかに

Beyond your expectations!



## イントラストの経営理念

### 経営姿勢

我々はお客様に三つの価値（喜び、安心、信頼）を提供します。

#### お客様にどれだけ喜んでいただけるか。

...

お客様に心から喜んでいただくため、常に全力を尽くす姿勢。

#### お客様にどれだけ安心していただけるか。

...

お客様へご提供している商品が、日頃安心してご利用いただけているかということに高い関心を持ち続ける姿勢。

#### お客様にどれだけ信頼していただけるか。

...

お客様のニーズに敏感な情報感度を持ち、真の信頼とは何かを追求する姿勢。

### 基本方針

我々は以下の五原則に従って会社を運営します。

#### 感動

いつの時代においても、お客様に感動していただける企業を目指す。

#### 挑戦

挑戦し続ける創造力と実行力を持ち、時代と共に生き続けられる企業を目指す。

#### 自覚

社員一人ひとりが社会に参画しているという強い自覚と誇りを持つ企業を目指す。

#### 活躍

社員が心身ともに健やかに活躍できる職場環境を目指す。

#### 品格

コンプライアンスを最重要視し、常に秩序と品格のある行動を徹底する。

## ご挨拶

### 株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より多大なるご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

なかなかコロナの終息も見えず、海外では悲劇が繰り返され、今後の世界に大きな影響を与える状況が続いております。あらゆる事で大きなうねり、大きな変化を実感します。不確実な

世の中において、先の見えない社会における弊社の役割は何か、と改めて自問自答しております。

弊社は総合保証サービス会社として、社会の仕組みが安全、安心して機能、循環していくための持続可能な仕組みを提供していくことが大きな役割と自覚しています。家賃債務保証、医療費用保証、介護費用保証、養育費保証と次々と提供させていただいた保証商品も確実に成長してきております。

今後はさらに積極的な投資も行い、新たな保証、仕組みを創造し、社会への貢献を目指してまいります。ちょうど今、弊社は何度目かの脱皮を行っている時期だと感じております。生物が大きくなる時、何回かの脱皮を繰り返すように、弊社もその成長プロセスを実行しているところだと感じております。投資家の皆様にはIRを通じ、このプロセスをご理解いただく活動も積極的に行ってまいります。株主の皆様と多くのことを共有しながら、さらなる高みを目指し、何度も脱皮を繰り返しながら成長を続けていくことをお約束させていただきたいと思っております。どうぞ引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

桑原 豊

## 特集 社長インタビュー

### 第2次中期経営計画

# 「Road to the Higher」

## について

2023年3月期は、売上高100億円へのステップとするために策定した第2次中期経営計画「Road to the Higher」の2期目。前期の振り返りと家賃債務保証、医療費用保証の成長戦略。そして、今後の成長に期待がかかる介護費用保証、養育費保証における取り組みと手応え、M&Aについて、代表の桑原豊がお伝えします。

#### —— 2022年3月期の振り返り

### 売上・純利益とも予算を下回ったものの 第2次中計の初年度に相応しい成長

2022年3月期の通期業績は、売上高4,943百万円（前期比17.6%増）、営業利益1,184百万円（前期比3.0%増）、経常利益1,179百万円（前期比2.3%増）、当期純利益779百万円（前期比2.5%増）。いずれも前期比では増収増益となるものの、予想を下回る結果となりました。株主の皆様とのお約束を果たせなかったことを大変申し訳なく感じております。売上目標未達の要因は、長引くコロナ禍によって医療機関への営業活動が著しく制限される状況が続き、医療費用保証の新規契約獲得が遅れたことにあります。介護費用保証も同様で、オンラインツールを駆使してもお客様との接点を増やすことができませんでした。当期純利益については、家賃債務保証事業において貸倒引

当金が増大したことが未達の要因です。家賃債務保証事業では売上に比例して貸倒引当金の額も増えますが、その割合が想定よりも高くなりました。しかしながら、増収増益は継続。総合保証サービス会社として売上100億円を射程圏に引き寄せるための第2次中期経営計画「Road to the Higher」の1期目に相応しい成長を示すことができたと考えています。

#### —— 今期の見通し、成長戦略について

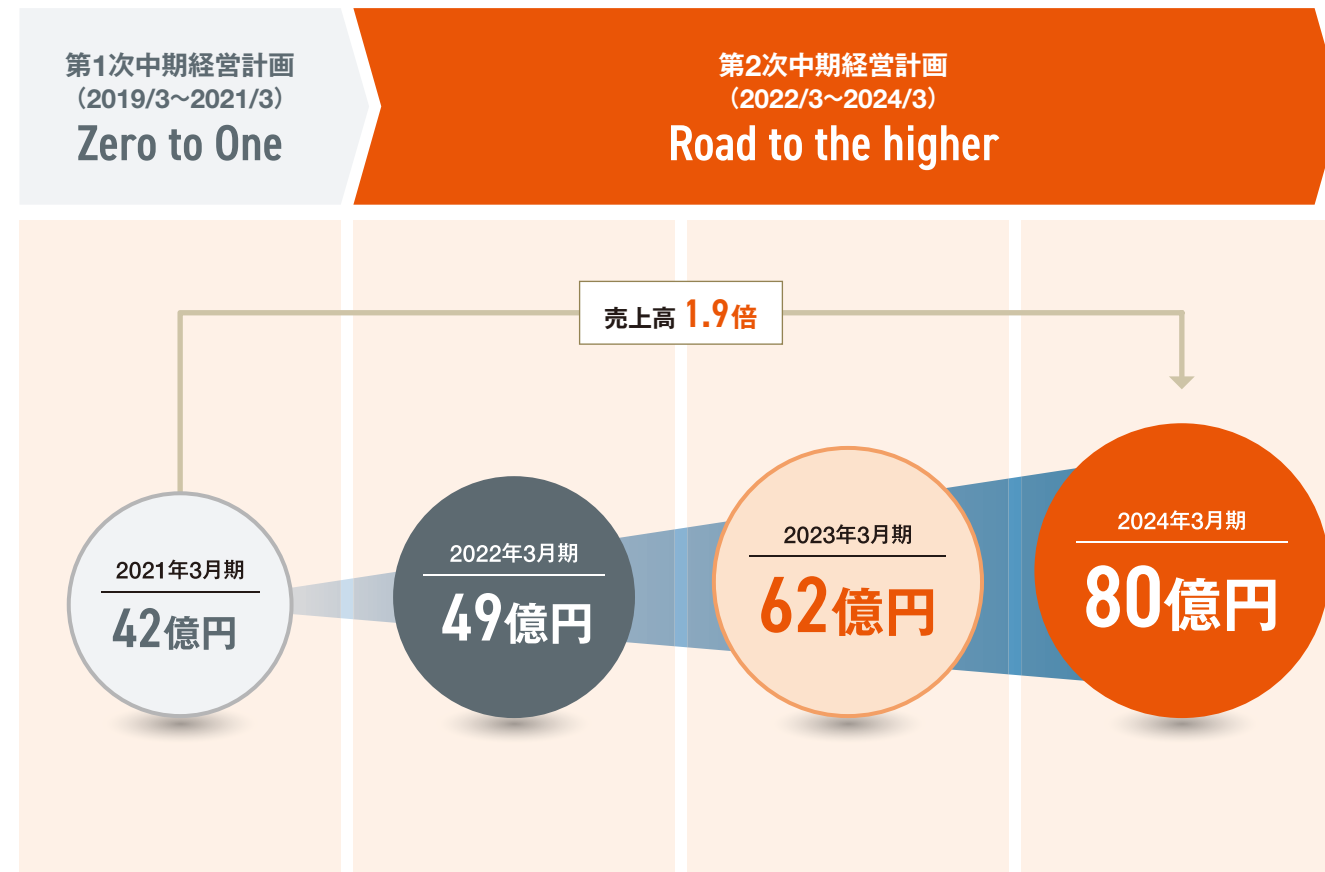
### 家賃債務保証は事業用物件の取り扱いを開始 リスクヘッジを行いながら市場を開拓

2023年3月期は、売上高6,200百万円（前期比25.4%増）、経常利益1,450百万円（前期比22.9%増）、当期純利益910百万円（前期比16.7%増）を目標としています。達成に向け、主力事業の家賃債務保証では事業用物件の取り扱いを本格

的にスタートします。事業用物件の平均賃料は60～70万円。当社が取り扱う物件の90%以上を占める居住用物件とは審査の手順、滞納時の処理も大きく異なります。金額に比例してリスクも膨らみますのでパートナー企業とも慎重にタイミングを計ってきましたが、今こそチャレンジの時。これまで培ってきたノウハウを駆使してリスクヘッジを行いながら市場を開拓し、収益の拡大を目指します。

### 医療費用保証はパートナー企業との関係強化 人材の確保、商品力向上に取り組む

もう1つの柱になりつつある医療費用保証については、医療分野に多くの経営資源を投入している大手パートナー企業との協力関係の強化。優秀な人材の確保。医療機関の細かな要望にお応えできるリーズナブルで使い勝手の良い保証商品の開



第2次中期経営計画  
「Road to the Higher」の詳細は  
Webにてご覧いただけます。





発。この3つをしっかりと進めてまいります。病院へのアクセス制限をはじめ、営業活動においては厳しい状況が続いていますが、コロナはもう言い訳になりません。この市場を開拓したフロントランナーとしての強みを活かし、新たな手法を創出しながらブルーオーシャンを突き進んでいきます。

### 自社メディアで養育費保証の必要性を説き シングルマザーの子育てを変える事業にする

養育費保証は第2次中計期間中の事業化を目指し、商品の改良とプロモーションの強化、マーケティング・セールス・Webシステムへの投資、ブランディング認知力向上に取り組んでいます。養育費保証は当社として初めてのBtoC事業で、お客様は経済的にも子育てに苦勞されているシングルマザーが多いです。専任チームが試行錯誤を続けていますが、収益のバランスを取るのにはそう簡単ではないと実感しています。

しかし、これは「我々がやらずに誰がやるのか」という強い使命感を持って始めた事業。2020年にリリースしたひとり親向けのオウンドメディア『SiN』の記事を読まれた方との接点も増えていきますので、養育費保証を必要としている方がたくさんいることを、より広く、強く伝えていきます。それが国やしかるべき公的機関に届き、ひとり親が子育てに苦勞されている状況が変わることを願っています。

介護費用保証は引き続き、直接的な営業活動とリネン事業者との提携によってオーダーメイドの商品を大手の施設事業者へ提案。市場規模の拡大と活性化を進めていきます。

ソリューション事業は最大の取引先の案件が保証に切り替わっている最中ですが、審査や保険デスクサービスは順調に推移。成長戦略の軸は、今期も引き続き、新規顧客の獲得です。

#### —— 新分野の事業創造に向けて

### 社内公募やパートナー企業との相互提案 M&Aによるシナジーでイノベーションを

総合保証サービス会社として成長するべく、新分野の保証商品及びサービスの開発を、社内公募、パートナー企業との相互提案という形で進めています。すでに細部の条件について交渉を重ねている案件もございますので、2023年3月期中には株主の皆様にご報告できると思います。

M&Aの実現も今期の大きな目標の1つです。すでに社内に向けては今期中の実現を基本方針としてコミットメントしており、専任チームを立ち上げました。目的は、シナジーを得られる相手との資本業務提携を前提とした投資です。いずれにせよ、保証分野に固執するつもりはありません。シナジーを創造できる相手とご縁があれば、積極的に資金を投入する準備があります。

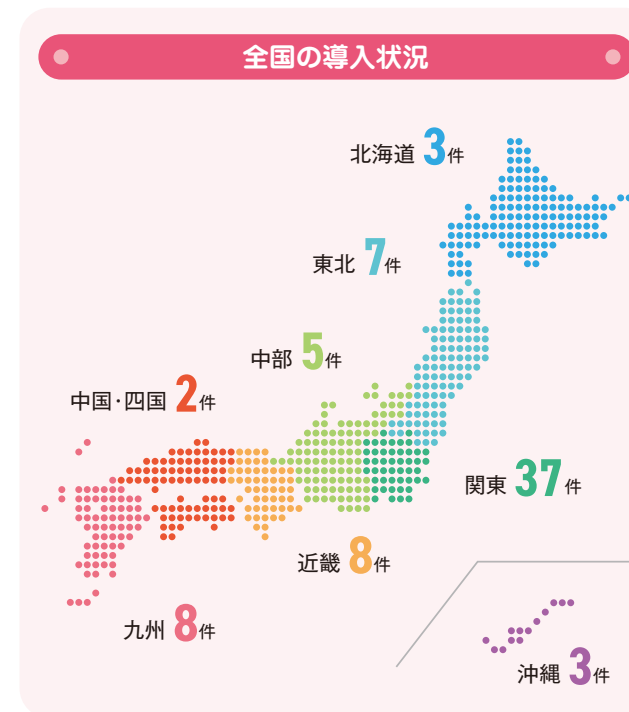
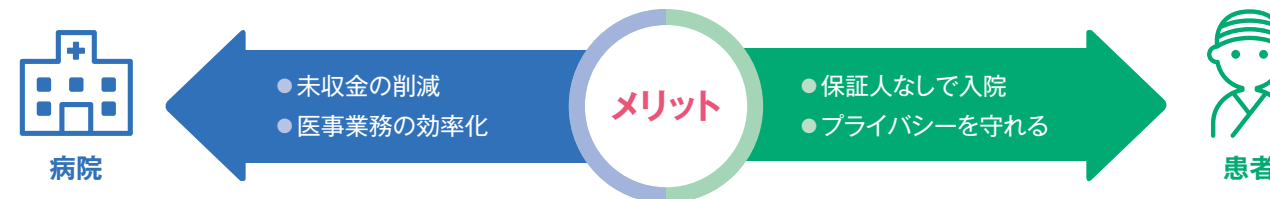
#### —— 株主の皆様へ

### 静から動へ。安心・安定感を維持しながら さらなる高みを目指してチャレンジ

イントラストは2016年の上場以来、増収増益及び増配を継続しており、安心・安定感を重視される株主の皆様には高い評価をいただいています。しかし、その一方で「もっとアグレッシブな経営をしてもいいのでは」という声も聞こえてまいります。さきほどお話したM&Aがまさにそうで「静から動へ」が今期のテーマ。強固な経営基盤をベースに、安心・安定感を維持しながら、皆様に「何か新しいことをやってくれそうだ」と期待していただけるように、さらなる高みを目指してまいります。その取り組みと成果はホームページや株主通信でお伝えいたしますので、当社のチャレンジに引き続きご注目ください。

## これからの社会を支える医療費用保証のご紹介

高齢化が進み医療の社会ニーズが高まりを見せるなか、医療機関においては医療費の未収金が課題になってきています。また、令和2年の民法改正により入院時の保証人を立てる際の手続きが複雑になり、医療機関と患者の双方にとって大きな負担となっています。スマホスはこれらの課題を一貫して解決いたします。



#### 入院以外にも様々なケースに対応

<p>外来</p>	<p>外国人</p>
<p>無保険者</p>	<p>全ての診療科</p>

## 2022年3月期業績ハイライト・2023年3月期業績計画

## 2022年3月期業績について

家賃債務保証の成長が寄与し、売上は大幅増収。  
年間配当は好調な業績を踏まえ増配。

保証事業においては、家賃債務保証の新規契約が大幅に増加し、増収に寄与した一方、医療費用保証については、特に上期において新型コロナウイルス感染症拡大の影響による営業活動の制約等により減収となりました。

ソリューション事業においては、保証事業へのシフトが鮮明となり減収となりましたが、保険デスクサービスにおいては、少額短期保険における募集サービスが好調に推移いたしました。

その結果、保証事業の売上高は、3,053百万円（前期比33.1%増）、ソリューション事業の売上高は、1,890百万円（同1.0%減）となり、売上高合計で4,943百万円（同17.6%増）となりました。

年間配当につきましては、全体的な業績が安定的に推移したことから、前期実績から1円増配の1株当たり12円としております。

## 2023年3月期計画について

新たな分野や未開拓市場の開拓を進め、  
売上高、営業利益ともにさらなる増収増益を見込む。

保証事業においては、主力の家賃債務保証及び成長分野である医療費用保証に注力するとともに、新たな分野や未開拓市場の開拓を進めてまいります。

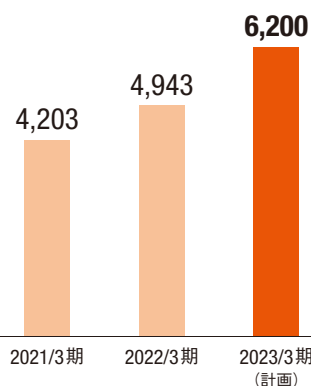
家賃分野においては、減少が続いていた新築着工戸数が増加に転じており、当該傾向はしばらく続くものと考えております。

ソリューション事業においては、サービス品質の追求及び新商品の開発・提案・販売に取り組んでまいります。

2023年3月期は、売上高6,200百万円（前期比25.4%増）、営業利益1,450百万円（同22.4%増）、経常利益1,450百万円（同22.9%増）、当期純利益910百万円（同16.7%増）を見込んでおります。また、当社では上場以来、毎年普通配当において増配を維持しており、中間6.5円、期末6.5円の年間13円を予定しております。

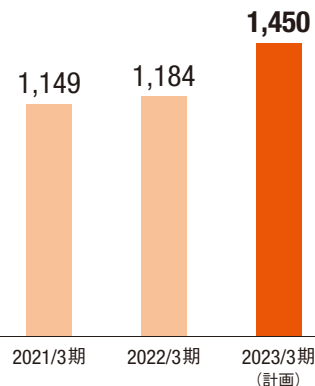
## 売上高

単位：百万円



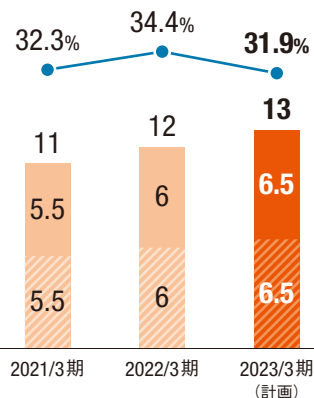
## 営業利益

単位：百万円



## 1株あたり年間配当金・配当性向

■ 中間配当 ■ 期末配当 ● 配当性向  
単位：円



## 株主アンケートのお願い

弊社は株主の皆様のお声をいただいて、IR活動を充実してまいりたいと考えております。今回よりアンケートをWeb化し、オンラインで回答できるようにいたしました。薄謝といたしまして、アンケートにご協力いただいた株主様の中から抽選で**20名様に「QUOカード（1,000円分）」**を進呈いたします。



## 🔍 アクセス方法

**ご回答期限 2022年7月31日まで** ※当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



パソコン

**お手元の事業報告書よりご確認ください。**



スマートフォン・携帯電話

右のQRコードをカメラで読み取れば、スマートフォンや携帯電話からもアクセスできます。



## 📄 アンケート内容

## 1. 株主様について

年齢や投資経験など、株主様自身についてのご質問です。分析は個人が特定できないよう統計的に行いますが、ご住所等はQUOカードをお送りする際に参照させていただきます。

## 2. 弊社に関するご質問

弊社を知ったきっかけや、商品のご利用経験につきまして伺います。

## 3. 株式に関するご質問

弊社株式を取得した理由や今後の方針につきまして伺います。

## 4. 株主通信に関するご質問

今回の株主通信に関するご感想や、ご要望を伺います。

回答時間の目安は6分程です。  
おひとり様1回までのご協力をお願いいたします。



## 決算説明動画を公開しています



弊社は、株主や投資家の皆様に弊社のことをよりご理解いただくために、決算説明動画を配信しています。動画では、業績ハイライト、今後の取り組みや戦略、業績予想のポイントを中心にご説明していますので、ぜひご覧ください。

今後も株主・投資家の皆様にタイムリーで分かりやすい情報発信を目指し、IR活動の向上に取り組んでまいります。

## 企業情報／IR情報サイト

<https://www.entrust-inc.jp/ir/>

決算説明の動画はこちらからご覧いただけます



## 株主優待のお知らせ

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、弊社株式の魅力を高め、より多くの方々に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。

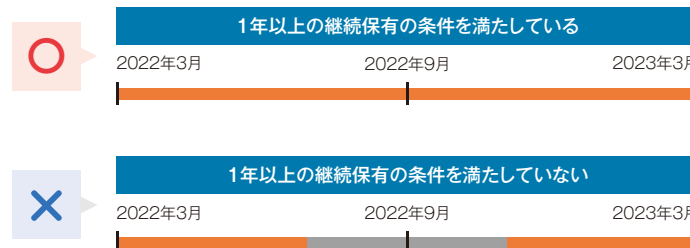
### 優待内容

3月31日基準日の株主様の中から、当社株式100株（1単元）以上を1年以上継続保有されている株主様に対し、以下の内容にて株主優待を贈呈いたします。

所有株数	優待制度の内容
100株以上300株未満保有の株主様	500円相当のクオカード
300株以上保有の株主様	1,000円相当のクオカード

### 継続保有の条件

「当社株式100株（1単元）以上を1年以上継続保有」とは基準日時点において当社株主名簿に記載または記録されており、そのすべての時点での保有株式数が100株（1単元）以上であることが条件となります。



## 株式情報／株主メモ

### 株式情報（2022年3月31日現在）

■ 株式の状況  
 発行済株式の総数 22,357,522株  
 発行可能株式総数 60,000,000株  
 株主総数 5,981名

### ■ 大株主の状況

<株主名>	<所有株式数の割合>
PRESTIGE INTERNATIONAL (S) PTE. LTD.	56.84%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	6.40%
桑原 豊	3.63%
株式会社桑原トラスト	2.24%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2.21%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED	2.20%
OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	2.20%
株式会社トリニティジャパン	1.49%
THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A.	1.44%
LONDON SPECIAL ACCOUNT NO. 1	1.44%
株式会社日本カस्टディ銀行（信託口）	1.29%
野村信託銀行株式会社（投信口）	1.20%

### 株主メモ

証券コード 7191  
 上場市場 東京証券取引所 プライム市場  
 事業年度 4月1日から3月31日まで  
 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内に招集いたします。  
 基準日 3月31日  
 剰余金の配当の基準日 3月31日、9月30日  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
 同事務取扱事務所 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-288-324（フリーダイヤル）  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 みずほ信託銀行（トラストラウジを除く）、  
 みずほ銀行、みずほ証券の各本支店  
 電子公告により行います。  
 (https://www.entrust-inc.jp/)  
 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

同連絡先・郵便物送付先  
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-288-324（フリーダイヤル）  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 みずほ信託銀行（トラストラウジを除く）、  
 みずほ銀行、みずほ証券の各本支店  
 電子公告により行います。  
 (https://www.entrust-inc.jp/)

未払配当金のお支払  
 みずほ銀行、みずほ証券の各本支店  
 電子公告により行います。  
 (https://www.entrust-inc.jp/)

公告掲載方法  
 電子公告により行います。  
 (https://www.entrust-inc.jp/)

### 持続可能な社会をめざして～イントラストのESG～

#### Vol.3 アイシティ ecoプロジェクトへの参画



「アイシティecoプロジェクト」は、リサイクルが可能な使い捨てコンタクトレンズの空ケースを対象に、全国のアイシティ店舗に専用ボックスを設置して回収するリサイクル活動です。3つの社会貢献（1. 空ケースの再資源化による環境保全、2. 障がい者の自立・就労支援、3. 日本アイバンク協会への寄付）へとつなげていくことを目的として、HOYA株式会社 アイケアカンパニーが2010年よりスタートした活動です。

弊社は2017年12月より活動に参加しております。活動を始めるにあたり、身近な社会貢献活動を検討していた中、本プロジェクトはコンタクトレンズの空ケースを持参するだけでということで負担なく取り組み、従業員が集まるリフレッシュルームに回収BOXを設置し、定期的なお知らせ・周知をすることで、これまでに9.64kg（空ケース9,640個分）の空ケースを回収しています。（2017年12月～2022年3月）

